

# 令和3年度重点取組事項の推進状況報告

# 令和3年度の重点取組事項

- 1 平成新山溶岩ドーム崩壊に備えた各種諸対策の推進
- 2 眉山崩壊に備えた各種諸対策の推進
- 3 雲仙温泉街付近における火山現象による防災対策の推進
- 4 退避壕整備計画の推進

# 重点取組事項の推進に向けた体制の確立等

- 1 令和3年4月28日、第1回幹事会で専門部会の構成等を検討
- 2 幹事会の結果を踏まえ、同年5月13日、国・県・市の主な関係者で専門部会の構成について検討  
その後、専門部会構成案を幹事会に諮り、
  - ① 溶岩ドーム崩壊・眉山崩壊対応専門部会
  - ② 雲仙温泉街火山現象対応専門部会
  - ③ 退避壕整備計画等専門部会を設置
- 3 第1回目の専門部会を、前記①は同年7月12日に、前記②③は同年7月13日に実施し今後の方針等を検討
- 4 同年7月28日、第2回幹事会で今後の方針等を検討
- 5 同年9月16日、今後の方針等について、幹事会会員及び各専門部会会員に周知

# 平成新山溶岩ドーム崩壊に備えた 各種諸対策の推進状況

- 1 県職員対象島原半島での地震想定初動対応訓練の実施  
(4月22日、島原市と連携)
- 2 島原市・南島原市主催合同防災避難訓練の実施  
(5月30日)
- 3 専門部会による勉強会、防災対応・避難計画の検討等  
(検討中)
- 4 現状及び課題の抽出、今後の進め方の検討及びロード  
マップ案の検討 (検討中)
- 5 県主催雲仙岳大規模土砂災害合同防災訓練の実施  
(令和3年11月17日)

# 雲仙岳大規模土砂災害合同防災訓練

## 1 訓練目的

溶岩ドームの崩壊現象において、関係機関と住民が、ドーム崩壊の危険性の覚知から崩壊後までの様々な状況を想定した合同防災訓練を実施し、情報共有・発信、住民の避難行動等、関係機関のとるべき行動や果たすべき役割を確認する。

2 訓練日 令和3年11月17日

3 訓練場所 島原復興アリーナ・サブアリーナ

4 訓練方式 解説付学習型防災訓練

5 参加機関（訓練進行～長崎県危機管理課）

(1) 解説者 長崎大学高橋名誉教授、鹿児島大学下川名誉教授

(2) 長崎河川国道事務所、雲仙砂防管理センター

(3) 長崎地方気象台

(4) 長崎県（危機管理課、砂防課、島原振興局）

(5) 長崎県警察（本部警備課、島原警察署、南島原警察署）

(6) 島原市、南島原市、雲仙市

(7) 島原地域広域市町村圏組合（消防本部、島原消防署、南島原消防署）

(8) 報道機関（FMしまばら）

(9) 住民代表（安中地区、深江地区）

# 訓練全景



# 眉山崩壊に備えた各種諸対策の推進状況

- 1 専門部会による、現状及び課題の抽出、今後の進め方の検討及びロードマップ案の検討  
(検討中)
- 2 眉山関係既存資料の収集による実態把握等  
(資料収集中)

# 雲仙温泉街付近における火山現象による 防災対策の推進状況

- 1 第1回専門部会による現地視察、現状・課題等の検討等（令和3年7月13日）
- 2 過去の雲仙地獄における火山現象による主な事故概要等の調査、住民等向け事故概要等説明資料の作成（作成中）
- 3 緊急連絡先一覧の検討（検討中）
- 4 第2回専門部会による勉強会、進捗状況の共有等（令和4年1月19日）



# 退避壕整備計画の推進状況

- 1 第1回専門部会による現状及び課題の抽出  
(令和3年7月13日)
- 2 第2回専門部会による雲仙岳登山道防災マップの見直しに関する検討及び登山者に対する効果的な登山道防災マップの周知方法の検討 (令和4年1月19日)